二〇一九年

年頭にあたり

松前町長
石山英雄

明けましておめでとうございます。
平成31年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

平成最後のお正月です。元気にお過ごしのことと存じます。

昨年は、北海道胆振東部地震で北海道初の震度7を記録して、甚大な被害を受けました。また、北海道全域が停電となる「ブラックアウト」も経験し、不安な日々を過ごしましたが、我がまちにおいては大きな被害もなく安堵をしております。被災された地域の一日も早い復興を念じております。

平成30年度から新たな「松前町総合計画」がスタートしました。人口減少に歯止めをかけて持続可能な「松前町」を目指す10カ年計画であります。

目指すまちの将来像として、将来にわたり住み続けたいと思える「生活満足度の高いまち」を目標に設定しました。その実現に向けて取り組んでいくことが大切であります。町民の皆さまと前を向いて歩みたいと思っております。

新たな元号のもと「松前町」らしく確実に前進する年

になるように頑張ります。

今年も一年、松前町が安寧であり、皆さまにとりまして良い年でありますことを心からご祈念申し上げます。

松前町議会議長
伊藤幸司

新年明けましておめでとうございます。

平成31年の新春を迎えるにあたり、町議会を代表いたしまして、ご挨拶を申し上げます。町民の皆さまには、常日頃より町議会に対するご理解と多大なるご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、地球温暖化の影響により、例年になく台風が上陸し、さらには、北海道胆振東部地震の発生とそれに伴う全道規模の停電など、改めて自然災害の猛威を感じた年でもありました。

一方、松前町においては、松前中・福島中野球部合同チームが初めて全国大会に出場するなど明るい話題がありました。

しかし、主力の漁業を取り巻く環境は大変厳しく、特にイカ漁の不振とクロマグロ漁の厳格な資源管理は、漁業者の生活に大きな影響を与えており、議会としても、常任委員会で所管事務調査を行い、さらに、国会と内閣に対して、逐次、意見書を提出しております。

このような状況にあって、新しい総合計画が始動し、生活満足度の高いまちづくりを目指して施策が進められており、地域経済の向上、明るい長寿社会の実現、歴史文化の継承・創造など、未来に向けて持続的に発展していく取り組みに期待するものであります。

今年は統一地方選挙の年で北海道知事・北海道議会議員選挙が行われます。

6月には町議会議員選挙も行われ、町民の皆さまの審判を受けることになります。町議会としても、開かれた議会を目指し、議会の改革に取り組んでおります。

議員一人ひとりが、町民の皆さまが安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて、町議会自らの資質の向上に懸命に努めてまいりますので、一層のご支援をお願いいたします。

今年は平成最後の年であり、新元号元年の、新しい時代の幕開けともいえる年でもあります。この一年が皆さまにとって、幸多き年となることをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

松前町教育委員会教育長
宮島武司

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さまには、常日頃より、教育の推進にあたり、温かいご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼を申し上げます。

昨年は、小中9年間の教育活動を進めるため「小中一貫型教育」と、学校と保護者、地域の皆さんが協働で子どもたちの成長を支えていく「コミュニティ・スクール」（学校運営協議会）をスタートさせました。

なかでも、平成22年度から実施している書道教育は、松前高校を含め、着実に日常化が進められており、昨年も多くの賞を受賞し輝かしい実績と成果をあげております。

また、平成32年度から小学校5・6年生で教科化される外国語に対応するため、先んじてＡＬＴ（外国語指導助手）を1名から2名体制に強化しました。

さらに、松前中学校校舎が北海道赤レンガ建築賞を受賞、グラウンドも人工芝のサッカー場と天然芝の野球場に生まれ変わりサッカー大会や消防訓練大会にも活用され、町外から多くの方が訪れております。

くわえて、松前中・福島中野球部合同チームが、中体連の全国大会へ出場したことや、松前高校生が難関とされる英語検定準一級に合格するなど、町民に勇気と感動を与えてくれました。

本年も、町の将来を担う子どもたちに良好な教育環境と学習環境を確保してまいります。

町民の皆さまが、生涯の学びを通して明るく豊かな生活を営めるよう、文化・スポーツ・芸術の振興や国際交流などニーズに応じた環境づくりに取り組むとともに、国及び北海道の貴重な文化財でもある史跡福山城跡天守の木造復元整備の推進や、国の重要無形民俗文化財に指定された「松前神楽」を松前町の歴史とともに国内外に発信してまいります。

新年が皆さまにとりまして、平穏で幸多き年でありますよう、心からご祈念申し上げご挨拶といたします。